



特定非営利活動法人 日本歯周病学会

2023年 第1号 (4月)

ニュースレター

〒170-0003

東京都豊島区駒込 1-43-9 (一財) 口腔保健協会内

TEL: 03-3947-8891 FAX: 03-3947-8341 <http://www.perio.jp/>

発行人 沼部幸博 編集 広報委員会

【主要コンテンツ】 追悼：村井正大先生 秋季学術大会関連のご案内 日本歯科専門医機構報告
臨床データベース委員会の充実と展望 にゃんかむちゅ～LINE スタンプ発売

「継承」と「挑戦」



理事長 沼部幸博

日本歯科医学会には専門分科会 25 学会、認定分科会 21 学会、合わせて 46 学会があり、そのなかで本学会は、2 番目に多い会員総数 12,517 名を擁する専門分科会です (2022 年 12 月 31 日現在)。

2022 年 6 月 2, 3 日に開催された理事会および総会で、2023 年 4 月からの 2 年間、本学会の理事長としてお認めいただきました。この伝統があり、かつ現在も多くの会員それぞれが高いアクティビティをもって発展し続ける本学会の舵取りを課された責任に、身が引き締まる思いです。

私は立候補時の所信表明の際、「継承」と「挑戦」、2つのキーワードを基本理念として挙げさせていただきました。

まず「継承」ですが、先述のように歴代の理事長以下、理事、評議員、そして学会員の多大な尽力により、本学会は飛び抜けた高いモチベーションを維持しながら順調に発展を続けてきています。特に学会主導研究から窺える積極的な歯周病学のエビデンスの蓄積およ

び発信、「京都宣言」や小方頼昌前理事長執行部の活動で弾みのついた歯周病予防・治療への意識の啓蒙活動、そして臨床現場への新たな歯周治療技術の導入など、いつの時代も多岐にわたる方略を駆使しながらも方向性を失わずに継続している学会運営方針は、本学会の貴重な財産です。これを「継承」し、本学会がさらに新たな課題に取り組み、発展していくお手伝いをしたいと思います。

次に「挑戦」。これまで本学会は、世界に通用する多くの優れた歯周病研究者を輩出しています。まず新たな人材を確保し、さらなる研究者支援のための仕組み作りを行います。また治療や検査技術なども、医科と比較して歯科では新技術承認への壁が高く、歯周治療を含む歯科医療の進歩を妨げていると感じており、この課題に取り組みます。さらに歯周病専門医などのステイタス向上も課題の一つで、歯周病認定医や認定歯科衛生士も含め、学修し、研鑽を積んだ会員が手にする誇りある資格が、日々の臨床のなかでより重要な意義をもつ仕組み作りに着手したいと思います。

結びに、本学会が新たな時代に歩み出すための基盤を固め、先人の業績を確実に「継承」し次世代へ引き継ぎ、そして歯周病撲滅に挑む本学会員の研究、臨床力、モチベーションがさらに向上するシステム作りに「挑戦」する。これらを、学会員の皆様のご協力・ご指導を賜りながら、精一杯努力して成し遂げたいと思います。本学会へのご支援・ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

追悼 村井正大 先生

令和5年1月7日、歯周病学会名誉会員、日本大学名誉教授の村井正大先生が88歳でご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

先生は昭和9年に東京で生まれ、昭和34年日本大学歯学部ご卒業、昭和40年日本大学歯学部専任講師、昭和46年助教授、昭和53年4月に教授に就任されました。その期間、日本大学歯学部ならびに付属歯科病院において教育、研究、臨床に従事されました。特に、歯周病の病態解明とその予防・治療法を生化学的な観点から検証され、歯周病の治療薬や化学的プラークコントロール法について、多くの基礎研究や臨床研究を行い多大な研究成果を挙げられました。平成11年に大学を定年退職後は日本大学総合科学研究所教授を務め、平成16年に日本大学名誉教授となり、平成25年11月には、瑞宝小綬章を受章されています。

日本歯周病学会においては、評議員、理事、常任理事、副理事長の要職を歴任され、昭和55年10月に第23回、平成5年10月に第36回日本歯周病学会秋季学術大会大会長として大会を盛大に開催されました。海外学会においてもAAP Committees of Foreign Relation member、IAP General Secretaryで貢献されました。そして、平成17年4月より日本歯周病学会名誉会員とされています。先生のご功績はここですべて紹介するには紙面が足りないくらい数多くありますので、このくらいとさせていただきます。

私にとって先生は、これまで大学に奉職する機会を与えてくださった恩師です。私は昭和63年に日本大学歯学部を卒業後、研究生として先生の講座に入室させていただきました。入局3年目に、「学位を取得するつもりがあるならば、有給助手として大学に残らないか」と声をかけていただき、それが私の人生の転機となるとは当時、夢にも思いませんでした。それまで私は将来、開業する臨床のスキルアップのために大学に残って勉強していたので、研究に対してあまり深く考



えていませんでした。そのため、初めは研究がうまくいかず、思うような結果が出せずに苦労していました。そんな私に先生は、「研究はすぐ簡単に結果が出るようなものではない、どのような工夫をすれば結果を出せるかを自分で考える過程が大切だ」といつも仰っていました。そのためには文献をできるだけたくさん読み、そのなかに必ず鍵があることを指導してくださいました。また、先生は規律については大変厳しく指導され、人として、医療人としてのあり方を常に示されました。先生のそれらの教えは、今も講座の根幹となって受け継がれています。

これまで、日本歯周病学会をはじめ歯科界の発展にご尽力いただきました、村井正大先生に心より感謝申し上げます。また、個人的には私をここまで育てていただき、これまでの長きにわたり温かく見守っていただいたことを、この場を借りて御礼申し上げます。先生のご冥福を心よりお祈りいたします。

日本大学歯学部保存学教室歯周病学講座
佐藤秀一

第66回秋季日本歯周病学会学術大会開催のご案内

令和5(2023)年10月13日(金)、14日(土)の2日間にわたり、第66回秋季日本歯周病学会学術大会を、長崎駅に隣接する出島メッセ長崎(長崎県長崎市)において開催いたします。今大会のメインテーマは、「グローバルな歯周治療」といたしました。歯周病は高齢者を中心に世界中に蔓延した人類共通で対処すべき疾患ですが、実際の歯周治療にあたっては地域に密着したテーラーメイドの治療が必要です。そこで、広く世界の歯周治療に目を向けるとともに、地域医療に密着した歯科医師、歯科衛生士、疫学専門家に、それぞれの地域社会での歯周治療への貢献についてご講演いただきたいと考えております。

大会プログラムでは、まずグローバルな視点から、6月からIADRのPeriodontal Research Group Presidentに就任予定のミシガン大学教授Purnima Kumar先生に歯周治療とインプラント周囲炎の治療についてご講演いただきます。また、お隣の韓国から、Sungkyunkwan UniversityのSeung-Beom Kye先生に韓国歯周病学会理事長講演を行っていただきます。地域医療にも焦点を当てた企画として、「グローバルな地域医療」をテーマとして元国際協力事業団(JICA)ジュニア専門員の野中愛恵先生に世界各地での地域医療の経験を語っていただきます。また、「日本と世界の地域医療」をテーマとして、角 忠輝先生(長崎大学総合歯科臨床教育学分野教授)、野中愛恵先生(元国際協力事業団(JICA)ジュニア専門員)、田口円裕先生(東京歯科大学歯科医療政策学講座教授)によるシンポジウムを予定しています。さらに、歯科衛生士セッションにおいても「地域歯科医療における歯科衛生士の役割」をテーマとして、福田英輝先生(国立保健医療科学院)、久保山裕子先生(日本歯科衛生士会副会長)、江部由佳梨先生(元鹿児島大学病院)による歯科衛生士シンポジウムを企画しています。

グローバルな話題からは少し離れて、歯周病にも大きく関係する「咀嚼と栄養」をテーマに、佐々木 敏先生(東京大学大学院社会学部予防医学分野)による特別講演を企画しています。また「細菌学的観点からの歯周病と全身疾患の関連」をテーマに、内藤真理子先生(長崎大学口腔病原微生物学分野教授)、今井健一先生(日本歯科大学歯学部感染症免疫学講座教授)、山下喜久先生(九州大学口腔予防医学分野教授)によるシンポジ

ウムを企画しています。臨床的話題としては「低侵襲歯周組織再生」をテーマに山口文誉先生(山口歯科医院)の特別講演を予定しています。歯科衛生士教育講演は、五味一博先生(鶴見大学歯学部歯周病学講座教授)に「歯科衛生士が知っておきたい洗口剤の応用」についてご講演いただく予定です。倫理講演では、大室俊三先生(御茶の水ひまわり法律事務所)に「歯科医師・歯科医療に関わる法規の概要と特徴」についてご講演いただく予定です。この倫理講演は、歯科専門医機構の共通研修項目⑤医療関連法規に申請予定です。

そのほか、認定医・専門医教育講演、ランチョンセミナー、スイーツセミナー、一般口演・ポスター、衛生士口演、臨床ポスター企画等を準備しています。詳細につきましては、今後、学術大会ホームページにてご案内いたします。

新型コロナウイルス感染症が3年以上にわたって続いており、今後の状況変化の予測は困難でありますので、学術大会の開催形式は、現在のところ、現地開催と講演等のオンデマンド配信を組み合わせたハイブリッド開催の方向で準備を進めております。

九州北西岸に位置する長崎市は、鎖国時代においても出島を経由して海外文化が伝えられ、長い歴史のなかで多様な文化が重なり合い強い歴史性を有した場所が市内各地にあります。居留地時代から現存する6棟の洋館を集めたグラバー園、19世紀初頭の港を復元した出島、現存する木造ゴシック様式の教会のなかでは日本最古の大浦天主堂は、初めて長崎を訪れた方には見逃せません。原爆落下中心地公園北側、小高い丘にある平和公園は、悲惨な戦争を二度と繰り返さないという誓いと、世界平和への願いを込めてつくられた公園です。夜になると長崎港を中心とした丘陵地で輝く灯りは「世界新三大夜景」に認定され、世界有数の夜景が目の前に広がります。長崎市から少し足を延ばすと、今も活発に噴気を上げ、いたるところから硫黄のにおいと白い噴煙が立ちこめる「雲仙温泉」や、かつて炭鉱の島として栄えた軍艦島も、長崎港から40分のクルーズで出会うことができます。

食文化では、ちゃんぽんや皿うどん、カステラ、トルコライスなど、異国の文化や風習に影響を受けた独特なご当地グルメがあり、さらに周囲を海に囲まれて

いることから獲れたての魚介が満載です。

新型コロナウイルス感染症の収束を願っておりますが、臨機応変にさまざまな感染症対策を講じて、皆様が安心・安全にご参加いただけますよう、スタッフ一同、全力で準備に取り組んでおります。全国から多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

大会長 吉村篤利
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野)

1. 会 期

令和5(2023)年10月12日(木)、13日(金)、14日(土)

2. 会 場

出島メッセ長崎
〒850-0030 長崎県長崎市尾上町4-1

3. テーマ

グローバルな歯周治療

4. 事前参加登録期間

2023年5月29日(月)正午より
2023年8月31日(木)正午まで

5. 参加登録費

	事前
正会員(歯科医師・医師ほか)	5,000円
準会員(上記以外)	3,000円
非会員(歯科医師・医師)	10,000円
非会員(上記以外)	5,000円
学 生(大学院生は除く)	1,000円

6. 演題および抄録登録期間

2023年5月15日(月)正午より
2023年6月15日(木)正午まで

第66回秋季日本歯周病学会学術大会 事務局
長崎大学大学院医歯薬学総合研究科歯周歯内治療学分野

大会準備委員長：柳口嘉治郎
〒852-8588 長崎県長崎市坂本1丁目7-1
TEL：095-819-7683 FAX：095-819-7684

第66回秋季日本歯周病学会学術大会 運営事務局
(株)日本旅行 大阪法人営業統括部 MICE 営業部内
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1 山口玄ビル6階

TEL：06-4256-3869 FAX：06-6204-1763

E-mail：jsps66@nta.co.jp



第66回秋季日本歯周病学会学術大会臨床ポスター (認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター) 発表申込のご案内

学術大会における臨床ポスター(認定医・専門医ポスターおよび歯科衛生士症例ポスター)発表の演題募集は、一般演題とは別になります。受付は学術大会ホームページからのみになりますのでご注意ください。以下に概要を記します。

演題申し込みおよび抄録作成方法などの詳細は学術大会 Web サイト上で公開予定です。認定医・専門医と歯科衛生士症例のポスターカテゴリーごとに必ずご確認ください。

1. 演題発表資格

いずれの 카테고리とも、筆頭発表者が学会認定資格（認定医・専門医・指導医あるいは認定歯科衛生士）を有している必要はありませんが、筆頭発表者と発表における責任者は本学会会員に限ります。また、本学術大会における筆頭発表は1名1演題までといたします。詳細は学術大会ホームページをご参照ください。

2. 演題申込および抄録登録期間

令和5（2023）年5月15日（月）正午より

令和5（2023）年6月15日（木）正午まで

【注意事項】

A) 臨床ポスター、歯科衛生士ポスターは症例発表の場で、臨床研究の発表は認めておりません。臨床研究に該当する場合、一般演題での登録をお願いします。

B) 「認定医・専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方（薬機使用の考え方）」

https://www.perio.jp/member/certification/recognition/file/new/info_220602.pdf

「学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（学術大会ポスターチェックリスト）」

https://www.perio.jp/member/award/file/special/poster_checklist.pdf

を遵守いただきますようお願いいたします。



薬機使用の考え方



学術大会ポスターチェックリスト

C) 登録期間終了日はアクセス集中によるエントリー遅延・不具合が起りやすいので、お早めに登録をお済ませください。

D) 演題申込時には学術大会ホームページ記載の留意事項を必ずご確認のうえ応募くださいますようお願い申し上げます。上記事項を逸脱する行為および演題内容については、発表をお断りすることがあります。

3. 臨床ポスター発表の特典

臨床ポスター発表を行うと、筆頭発表者に対して資格申請・更新に必要な所定の研修単位が付与されます（専門医の申請時、および認定医と専門医の更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位、認定歯科衛生士の申請時・更新時の生涯研修単位における業績発表単位は10単位）。なお、感謝状の授与方法は第65回春季学術大会時より「学術大会終了後郵送」に変更となっております。

4. 臨床・症例ポスターの発表様式

パネルサイズは高さ210cm×幅90cmです。表示形式および表記様式、ポスター討論についての留意事項を学術大会ホームページにてご案内していますのでご確認ください。**演題番号の個所や顔写真の掲示場所、「同意や承認」（手術の患者同意あり、発表の患者同意あり、未承認薬等不必要の表示、利益相反状態の開示（コメント））の記載場所、ポスター討論の時間等細かく規定されていますので必ずご確認ください。**印刷前にPDF形式で発表データを提出いただき、認定3委員会・大会校により、事前チェックを行います。なお、演題登録後に抄録の変更や討論時の発表者交代は認められません。問題が生まれましたら運営事務局にご連絡ください。

5. ポスター賞について

認定医・専門医優秀臨床ポスター賞は選考対象となることを希望された発表が、ベストデンタルハイジニスト賞は歯科衛生士ポスター発表として演題登録いただいたすべての発表が選考対象となります（ただし、留意事項を遵守されていない場合は対象外）。受賞発表および表彰は次回学術大会（第67回春季日本歯周病学会学術大会）にて行います。その際、受賞ポスターは再掲しますので、発表ポスターの保管（データ版・紙版とも）にご協力願います。

専門医委員会委員長 吉成伸夫

認定医委員会委員長 仲谷 寛

歯科衛生士関連委員会委員長 荒川真一

専門医・指導医・認定医および認定歯科衛生士制度についてのお知らせ

日本歯周病学会では、本年度の認定医・専門医・指導医および認定歯科衛生士の申請と更新、ならびにその研修施設および学会認定研修会の申請を受け付けます。各資格についてのタイムスケジュールは以下のとおりです。

1. 専門医・指導医申請（第69回専門医・指導医認定審査）および各資格の更新

令和5（2023）年7月3日（月）：受付開始

令和5（2023）年7月21日（金）：締切（消印有効）

令和5（2023）年8月頃：申請および更新に関する書類審査会開催

令和5（2023）年9月頃：（専門医申請者のみ）専門医認定試験（ケースプレゼンテーション、口頭試問、ならびに筆記試験）開催

※第68回専門医認定審査より筆記試験が導入されました。書類審査合格通知時に詳細をご案内します。

令和5（2023）年10月12日（木）：各資格申請・更新合格者を理事会で承認

令和5（2023）年10月13日（金）：第66回秋季学術大会（長崎）時に合格発表

令和5（2023）年12月頃：専門医・指導医認定証発行*

※日本歯科専門医機構発行の歯周病専門医認定書は令和5（2023）年度末に行われる運用審査承認後に発行予定

2. 認定医申請（第30回認定医認定審査）および更新

令和5（2023）年7月24日（月）：受付開始

令和5（2023）年8月10日（木）：締切（消印有効）

令和5（2023）年9月頃：申請および更新に関する書類審査会開催

令和5（2023）年10月12日（木）：（申請者のみ）筆記試験会場：出島メッセ長崎

申請・更新合格者を理事会で承認

令和5（2023）年10月13日（金）：第66回秋季学術大会（長崎）時に合格発表

令和5（2023）年12月頃：認定医認定証発行

⇒平成30（2018）年1月1日より、新規認定医申請の際に、本学会が行う倫理に関する講演の受講（1回以上）が義務付けられました。

3. 認定歯科衛生士申請（第37回認定歯科衛生士認定審査）および更新

令和5（2023）年6月12日（月）：受付開始

令和5（2023）年6月30日（金）：締切（消印有効）

令和5（2023）年7月頃：申請および更新に関する書類審査会開催

令和5（2023）年9月頃：（申請者のみ）ケースプレゼンテーション

令和5（2023）年10月12日（木）：申請・更新合格者を理事会で承認

令和5（2023）年10月13日（金）：第66回秋季学術大会（長崎）時に合格発表

令和5（2023）年12月頃：認定歯科衛生士認定証発行・認定歯科衛生士襟章送付

以上の各資格の申請・更新手続き、申請書類や規則等については、学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）をご確認ください。ホームページに記載された方法に準拠しない申請・更新手続きは無効となります。

なお、規則・細則は改定されることがありますので、ホームページにおける申請受付前1カ月以内の最新の記載内容を確認してください。

研修施設申請・更新のお知らせ

認定医、専門医の研修施設を認定する制度です。申請・更新受付とも期間は令和5（2023）年7月3日（月）～令和5（2023）年7月21日（金）（消印有効）です。申請・更新手続きについては、学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）に記載してありますので、これに従い手続きを行ってください。

認定医、専門医・指導医更新に関わる研修単位を取得できる専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会申請についてのお知らせ

歯周病学に関する専門的研修に寄与する学会、指導医等主催による任意の研修会について、研修単位取得対象研修会として認定する制度です。申請期間は令和5（2023）年7月3日（月）～令和5（2023）年7月21日（金）（消印有効）です。手続きの方法等を学会ホームページ（<https://www.perio.jp>）に記載しておりますので、これに従い手続きを行ってください。令和5

(2023) 年 9 月末頃までに専門医委員会の審査による

認定の諾否を通知いたします。

日本歯科専門医機構報告

ニュースレター 2022 年 2 号以降、現時点までの専門医に関する対応について、会員各位にご報告します。流動的な状況もございますので、今後、取り扱い等の変更が発生する可能性があることをあらかじめご了承ください。これからも、会員各位に対しましてはタイムリーに情報を発信させていただきますので、会員情報の登録内容のご確認、ならびに電子メールご登録をお願いします。

口腔保健協会会員システム「OHASYS」

<https://ohasys.net/login>

※会員番号の確認はお手元の

会員カードをご参照ください。



1. 日本歯科専門医機構「共通研修」について

前号でご案内しましたとおり、令和 4 (2022) 年 4 月 1 日より「共通研修」制度が再編されました。

専門医新規・更新の手続きに際し、『①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済』の受講歴が各 1 単位以上かつ、5 項目を含む共通研修単位を毎年度 2 単位、計 10 単位取得が義務付けられております。

専門医（含む、指導医）新規・更新手続きに際しては、学会ホームページに掲載しているフローチャートにて現時点のご自身の共通研修単位をご確認ください。

専門医「共通研修」確認用フロー
チャート（新規・更新共通）

https://www.perio.jp/member/certification/special/application_jdsb.shtml



本学会では会員負担を考慮し、春季・秋季学術大会内で「共通研修」に認定された講演を実施し、日本歯周病学会学術大会への参加のみでカリキュラムを満たせるよう講演プログラムを編成しております。今後の予定としましては、

第 66 回春季学術大会：②患者・医療者関係の構築、ならびに④院内感染対策

第 66 回秋季学術大会：⑤医療関連法規・医療経済を開催予定です。専門医資格の取得および更新をお考えの先生におかれましては、必要とされる「共通研修」の単位を確実に取得するために、各学術大会へ参加（Web 参加も可能）のうえ、共通研修を受講してください。

2. 専門医の認定証発行について

2019 年度以降に新規・更新認定されました専門医の先生方にはすでにお送りした日本歯周病学会「歯周病専門医認定証」（学会認定証）のほかに、日本歯科専門医機構より「歯周病専門医認定証」（機構認定証）が送付されます。この機構認定証は準備でき次第、日本歯科専門医機構より発行される見込みです。

従来から発行しております日本歯周病学会「歯周病専門医認定証（学会認定証）」「歯周病専門医記念の楯（希望者のみ）」は今後も発行いたします。

3. 令和 6 (2024) 年度以降における機構認定に関わる受益者負担（経費負担）について

令和 6 (2024) 年度以降の専門医新規申請料・更新料に日本歯科専門医機構審査料として 11,000 円を上乗せし、受益者負担をお願いさせていただく予定です。

4. 新規認定資格合格者の掲示について

令和 4 年度の運用審査にて機構より、新規認定資格合格者の掲示を国民向けにも行うよう指導がなされました。今春の認定資格合格者（施設）より、従来の学術大会会場内で掲示されている合格者リストを学会ホームページ内「ピックアップ」にて公開します。なお、公開期間は学術大会現地開催終了後からおおむね 1 か月以内の予定です。

5. その他

機構より、専門医研修施設の新規申請・更新時における指導医の勤務実態・診療実績、所属研修生の状況（数、研修年数）の提示が今後求められる可能性があります。その対応に関しては申請・更新施設になるべくご負担にならない方法を本学会内で検討中です。

臨床データベース委員会の充実と展望

日本歯周病学会では、2021年4月に新たに「臨床データベース委員会」を立ち上げ、活動を開始しています。

本委員会では、歯周病治療に関するデータベースを構築し、日本における歯周病治療指針、リスク管理、治療効果のエビデンスを社会に提示することを目的としています。構築されたデータベースを基にデータサイエンスの手法を用いて、新たな仮説や理論、知見を報告することで歯周治療の向上を図り、治療によって得られた貴重なデータを社会に還元いたします。将来的には患者自身がアクセスして活用できるサービスを開発し、提供することも目指しています。

本データベースの構築には、会員各位の症例情報の提供が不可欠です。具体的なデータ提供方法、保存方法、利用方法、社会還元の方法については、関係委員会で協議のうえ、改めて会員の皆様に依頼・報告させていただきます。本取組の趣旨をご理解いただき、社会全体にとって貴重な臨床データを学会として社会に還元することについて、ご協力をお願いいたします。特に、専門医・認定医・認定歯科衛生士の皆様、今後専門医・認定資格を申請される会員の皆様におかれましては、積極的なご支援を賜りますようお願いいたします。

学会プロモーション活動について

ニュースレター 2022年2号にてご報告いたしました国民に対する歯周病啓発活動について、進捗状況をお伝えします。

1. 国民向け新ホームページ「PerioBook」の作成

歯周病に関心がある、悩んでいる国民の皆様への情報提供に特化した新しい形のホームページを作成しております。このホームページは現在の学会ホームページとは別立てとし、現行ホームページより「歯周病Q&A」「認定資格者検索機能」を移動して公開予定です。公開までお待ちください。

2. 国民向け歯周病関連のPR動画「にゃんかむちゅ〜」

A) LINE スタンプ販売開始

2022年12月8日より、歯周病予防啓発アニメ「にゃんかむちゅ〜」LINEスタンプの販売を開始しました(16種セットで120円)。登場キャラクター「にゃんちゃん」「ネズミ」「かば山かば彦」がデザインされたオリジナルスタンプです。普段使いできるものを中心に取り揃えましたので、ぜひご覧ください。

今後、掲載してほしいスタンプがございましたら、日本歯周病学会、または日本臨床歯周病学会の各事務局までお知らせください。検討させていただきます。

B) 「にゃんかむちゅ〜」公式SNS開始

YouTubeに加えて、Instagram、Twitter、Tik Tokの公式SNSを開始しました。フォロー、ツイート、チャンネル登録大歓迎です。

C) 歯周治療関心者向けの動画制作進捗状況

歯科医院の診療室、待合室、授業等で放映できる歯周治療関心者向けの動画4編を作成しています。鋭意作成中ですので、完成までお待ちください。

1. 全身疾患との関係、歯周病とは、歯周病の原因(プラーク)
2. 歯周病かどうか分かる検査(プロービング、エックス線、口腔内写真)
3. 歯周病の治療 歯周基本治療 ブラッシング、補助清掃用具、電動歯ブラシ、スケーリング、その他
4. 歯周病の治療 歯周外科治療 メンテナンス



LINE スタンプ購入



公式 YouTube
チャンネル



公式 Instagram



公式 Twitter



公式 Tik Tok



学術賞・研究助成・地域活動賞・若手研究者合宿のご案内

下記の募集を行います。いずれも学会ホームページにて詳細をご確認ください。なお、企画調査研究助成募集は隔年での募集です。この次の募集は令和7(2025)年になります。

申請期間：令和5(2023)年4月17日～6月16日(1～3)、令和5(2023)年2月1日～5月31日 ※消印有効(4)
申請書類提出用ユーザー名：JSP-2023 (1～3)
申請方法：ホームページからの申請(1～3)。郵送(4)

1. 第21回日本歯周病学会学術賞(LION Award：令和5(2023)年度)

- 令和4(2022)年度実績
採択数2/応募数7

本賞は、会員のうち歯周病学において継続して優れた業績を挙げた研究者の功績を讃えることを目的に設けられました。副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、本賞(学術賞盾)のほかに副賞20万円と盾(LION Award)が贈られます。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。



<https://www.perio.jp/member/award/science.shtml>

2. シーズ育成若手奨励研究助成(令和5(2023)年度)

- 令和4(2022)年度実績
採択数1/応募数2

本会では若手会員を対象とし、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進することにつながるシーズ研究を奨励することを目的として、シーズ育成若手症例研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<https://www.perio.jp/member/assist/>



3. 企画調査研究助成(令和5-6(2023-2024)年度)

- 令和3(2021)年度実績
採択数1/応募数2

本会では、わが国における歯周病の研究・教育・医療および予防を推進するこ



とにつながる多施設研究を推進することを目的として、企画調査研究助成を制定しております。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

※平成 30 (2018) 年度より研究助成期間が 2 年間となりました。次回の募集は令和 7 (2025) 年 4 月 (令和 7-8 (2025-2026) 年度実施分) となります。
<https://www.perio.jp/member/assist/>

4. 地域活動賞 (令和 5 (2023) 年度)

- 令和 4 (2022) 年度実績
採択数 1/応募数 2

日本歯周病学会地域活動賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康



増進に寄与した優れた活動業績を挙げられた団体を表彰することを目的として平成 30 (2018) 年度に創設されました。応募資格をご確認のうえ、奮ってご応募ください。

<https://www.perio.jp/member/award/regional.shtml>

5. 第 9 回若手研究者合宿

本研修会は、若手研究者のリサーチマインドをさらに活性化することを目的としております。秋季学術大会に合わせて開催される講演会と懇親会を含む 1 泊 2 日の合宿形式のイベントです。詳細につきましては、秋季学術大会の演題募集時期に合わせて学会ホームページで通知いたします。

歯科衛生士教育講演・臨床研修会のご案内

歯科衛生士教育講演

今年度は福井県、徳島県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>



臨床研修会

今年度は愛媛県、群馬県、沖縄県、福井県での開催を予定しております。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の状況に鑑み、開催日時・方法を決定いたします。詳細はホームページで通知いたします。

<https://www.perio.jp/member/>



各賞・助成選考結果

シーズ育成若手奨励研究助成 (令和 4 (2022) 年度)

三上理沙子

(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科生涯口腔保健衛生学分野)

「Smad1 シグナルを介した糖尿病性腎症の糸球体硬化に歯周炎が与える影響とそのメカニズムの解明」



第 22 回学術賞 (LION Award : 令和 4 (2022) 年度)

竹立匡秀

(大阪大学歯学部附属病院)
「歯周組織の理解の深化と幹細胞移植治療への応用」



水谷幸嗣

(東京医科歯科大学大学院医
歯学総合研究科歯周病学分
野)

「歯周病と糖尿病・慢性腎臓
病の関連メカニズムの解明を
目指す基礎および臨床研究」



第20回会誌賞(MORITA Award: 令和3(2021)年度)

基礎分野 「ヒノキチオールおよびシャクヤクエキス
は *Porphyromonas gingivalis* の歯肉上皮細胞への感染
を抑制する」63巻(3):143-150, 2021

稲垣みずき, 大谷浩淑

筆頭著者所属: 日本ゼトック
株式会社



臨床分野 「超音波スケーラーから発生するエアロゾ
ルの特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果の検
討」63巻(4):171-182, 2021

高橋直紀, 山縣貴幸, 峯尾修平,
加藤光太, 多部田康一

筆頭著者所属: 新潟大学大学
院医歯学総合研究科歯周診
断・再建学分野



優秀臨床ポスター賞

(Quintessence Award: 第65回春季学術大会)

最優秀賞ポスター賞

山田 潔

(東京・医療法人社団 山田
歯科成瀬クリニック)

「矯正治療中に再発した広汎
型侵襲性歯周炎のリカバリー
症例」



優秀賞ポスター賞

八木元彦

(静岡・八木歯科)

「広汎型侵襲性歯周炎患者に
歯周組織再生療法を併用し、
歯周補綴を行なった一症例」



ベストデンタルハイジニスト賞

(TAKARA BELMONT Award: 第65回春季学術大会)

石田房子

(岡山・医療法人緑風会三宅
ハロー歯科)

「急激な HbA1c 値の悪化に
重度歯周炎症の関与を疑った
一症例」



令和4(2022)年度功労賞

ライオン歯科材株式会社

小林製薬株式会社

令和4(2022)年度地域活動賞

半田市学校歯科医会 「学童期からの歯周病教育」～将
来の罹患率の低下を目指して～

第8回「若手合宿研修」開催報告

若手合宿研修は、日本歯周病学会の若手研究者を対象として秋季学術大会の開催に併せて実施しており、今回が第8回となりました。本研修は海外留学の促進、若手研究者間の交流、ならびにリサーチマインドの活性化を目的とし、学会理事長の基調講演や留学経験のある先生方の経験談などをご講演いただきました。第1回から第6回までは宿泊を伴う研修会でしたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、昨年度の第7回に続き今年度の第8回も日帰りでのセミナー研修を企画し、仙台駅近くのTKPガーデンシティPREMIUM 仙台西口にて、第65回秋季学術大会の前日である2022年9月1日の18時から開催しました。

コロナ禍にてリモート会議が広く浸透し、離れた場所でも比較的容易に情報交換や討論が可能となりました。そこで今回の研修会では、日本歯周病学会の会員で米国に留学中の5名の先生方にご協力いただき、会場にご参集いただきました24名の参加者に対して、オンラインで「研究留学の今」について生の声を届けていただきました。研修では若手合宿研修ワーキングメンバーの一人である新潟大学 高橋直紀先生（留学先：University of California, San Diego School of Medicine）を皮切りに、九州歯科大学 鬼塚 理先生（留学先：Harvard Medical School）、広島大学 吉本哲也先生（留学先：Indiana University School of Medicine）、東京医科歯科大学 永田 瑞先生（留学先：University of Texas Health Science Center）、東京医科歯科大学 芝多佳彦先生（留学先：Harvard School of Dental Medicine）の各先生から、留学先の紹介、留学にいたった

経緯や準備に必要なこと、現在の研究環境や家族を取り巻く生活環境、さらには経済事情まで、限られた時間のなか多岐にわたる話題をご提供いただきました（写真1）。研修会の後半では、第7回の研修会で実施したグループワークを参考に、上記の各先生方と少人数でのディスカッションを行い（写真2）、さらに踏み込んだ内容について終了予定時間を超過する活発な質疑応答・意見交換が行われた後、閉会となりました（写真3）。

研修後に行ったアンケート調査では、「留学の現実的な厳しさを知った」という意見がある一方で、「日頃、学会では得られない情報が得られた」「留学準備の参考になった」等、多くの前向きな意見が寄せられました。また後日談として、参加した若手研究者から上記講演者の先生に対して個別に研究留学に関する相談が持ち掛けられたという報告もいただき、若手合宿研修の目的を果たす研修会になったものと考えております。来年度以降も引き続き、学会の若手研究者の皆様にとって有益なコンテンツを企画して参りますので、奮ってのご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、本研修会の企画・開催にあたりまして、学会あり方委員会委員長（当時）の沼部幸博先生、米国からご講演いただきました5名の先生方、ワーキンググループの先生方に感謝を申し上げます。

若手合宿研修ワーキンググループ 2022年度幹事
竹立匡秀（大阪大学）



写真1



写真2



写真3

次回幹事よりお知らせ：次回「若手合宿研修」は、第66回秋季日本歯周病学会学術大会に併せて開催いたします。長崎県出島の地で、若手の先生方同士が知り合い、留学について知見を広げられるような研修を予

定しています。留学や研究に興味のある若手研究者の皆さんのご参加をお待ちしております。

2023年度幹事

五十嵐寛子（日本歯科大学生命歯学部）

日本歯周病学会会誌のご案内

前回のニュースレター以降、日本歯周病学会会誌に掲載されました論文をご紹介します。日本歯周病学会会誌は2015年よりオンライン化され、J-STAGEで閲覧できます。また、発刊に合わせてメールアラートを配信しておりますので、学会にメールアドレスを登録されていない会員各位におかれましては、本学会ホームページよりご登録をお願いします。



日本歯周病学会会誌

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/perio/-char/ja>

日本歯周病学会会誌 Vol. 64 (2022) No. 3

・ミニレビュー

「SRP と抗菌薬の併用」

五味一博

「コンタクトエリアと歯周治療についての再考」

江澤庸博, 箭本玲奈, 江澤眞恵

・歯科衛生士コーナー

「歯周治療における歯科衛生士の業務範囲とその判断基準」

木下淳博

日本歯周病学会会誌 Vol. 64 (2022) No. 4

・総説

「歯肉幹細胞由来エクソソームのM2マクロファージ誘導を介した革新的歯周治療の開発」

福田隆男

・ミニレビュー

「天然歯とインプラントにおける周囲軟組織」

辰巳順一

「知の集積から見てきた接合上皮の恒常性維持機構」

相澤 怜, 田中準一, 美島健二, 山本松男

「歯周疾患検診の変遷と現状ならびに国民皆歯科健診の具体的検討」

出分菜々衣, 吉成伸夫

「慢性腎臓病と歯周病の関わり」

三上理沙子, 荒川真一

・原著

「歯周炎新分類に基づく診断とメンテナンス期の歯周炎に起因した、およびそれ以外の原因による歯の喪失発生率との関連性」

島袋善夫, 竹立匡秀, 沢田啓吾, 小清水まみ,

品田和子, 浅井晴美, 溝口あゆみ, 林 裕子,

塚本明奈, 宮後 緑, 西原風香, 西端隆子, 島袋美千代,

岩山智明, 藤原千春, 村上伸也
「糖尿病教育入院患者を対象とした歯周炎症表面積 PISA による歯周病重症度と動脈硬化との関連」

杉 典子, 畑中加珠, 吉田綾香, 高柴正悟

• 症例報告

「異種骨移植による歯周組織再生療法を行った 18 年経過症例」

小出容子, 鈴木基之, 宮下 元, 山本松男

「歯間乳頭の高さを考慮して歯肉退縮にトンネル形成術で対応した 1 症例」

山内伸浩, 皆川咲佳, 田口洋一郎, 梅田 誠

• 教育賞

「能動学習のための仕掛けを組み込んだオンライン授業におけるグループ討議とピア・ラーニングによる臨床実地問題作成を通じた学生の学びに関する検討」

大澤銀子, 加藤智崇, 仲谷 寛

• 歯科衛生士コーナー

「歯ブラシを使いこなそう」

荒木久生

• JACP/JSP ポスターセッション抄録集

役員名簿

日本歯周病学会役員 (令和 5 (2023) 年 4 月 1 日～令和 7 (2025) 年 3 月 31 日)

理事長	沼部幸博							
副理事長	西村英紀							
常任理事	荒川真一	稲垣幸司	梅田 誠	河口浩之	木下淳博	五味一博	齋藤 淳	
	佐藤 聡	高柴正悟	辰巳順一	多部田康一	中川種昭	仲谷 寛	野口和行	
	三谷章雄	八重柏 隆	山本松男	湯本浩通	吉成伸夫	吉村篤利		
前理事長	小方頼昌			監 事	伊藤公一	吉江弘正		
庶務担当	岩田隆紀	(幹事 片桐さやか)		会計担当	佐藤秀一	(幹事 伊藤 弘)		

名誉会員	安孫子宜光	雨宮 璋	新井 高	池田雅彦	石川 烈	伊集院直邦	和泉雄一
	伊藤公一	伊東隆利	上田雅俊	上野和之	恵比須繁之	太田紀雄	大塚吉兵衛
	岡田 宏	岡本 莫	岡本 浩	奥田克爾	加藤 熙	亀山洋一郎	鴨井久一
	栢 豪洋	川瀬俊夫	川浪雅光	栗原英見	斎藤和子	齋藤 滋	零石 聰
	島内英俊	下野正基	末田 武	滝口 久	田中昭男	谷口威夫	角田正健
	出口眞二	永田俊彦	中村治郎	二階宏昌	西原達次	野口俊英	野村慶雄
	原 宜興	廣瀬哲之	福田光男	船越栄次	堀内 博	前田勝正	三辺正人
	宮下 元	宮田 隆	村山洋二	森田 学	矢嶋俊彦	山崎和久	山田 了
	横田 誠	吉江弘正	渡邊達夫	Alice DeForest	Gregory J. Seymour		
	Martin A. Taubman	Pierre C. Baehni	Thomas E. Van Dyke				

評 議 員 □理事長 ●副理事長 ◎常任理事 ○理事

北海道大学大学院歯学研究科	杉田典子(総合病院, 講)	伊藤 太一(口腔インプラント学, 准)
○菅谷 勉(歯周・歯内, 准)	野中由香莉(総合病院, 講)	日本歯科大学生命歯学部
田中佐織(大学病院, 講)	明海大学歯学部	□沼部幸博(歯周病, 教)
北海道医療大学歯学部	○中 基喆(歯周病学, 教)	伊藤 弘(歯周病, 准)
○古市保志(歯周・歯内, 教)	林 丈一朗(歯周病学, 教)	関野 愉(歯周病, 准)
加藤幸紀(歯周・歯内, 講)	○荒木久生(総合臨床歯科学, 教)	五十嵐寛子(歯周病, 講)
○長澤敏行(臨床教育管理運営, 教)	溝部健一(機能保存回復学, 講)	◎○仲谷 寛(総合診療, 教)
森 真理(大学病院, 講)	東京医科歯科大学	大澤銀子(総合診療, 准)
岩手医科大学歯学部	◎○岩田隆紀(歯周病学, 教)	小川智久(総合診療, 准)
◎○八重柏 隆(歯周療法学, 教)	青木 章(歯周病学, 教)	日本歯科大学新潟生命歯学部
村井 治(歯周療法学, 助教)	片桐さやか(歯周病学, 准)	◎○佐藤 聡(歯周病, 教)
東北大学大学院歯学研究科	◎○木下淳博(教育メディア開発学, 教)	両角祐子(歯周病, 准)
○山田 聡(歯内・歯周, 教)	◎○荒川真一(生涯口腔保健衛生学, 教)	大森みさき(総合診療, 准)
根本英二(歯内・歯周, 准)	竹内康雄(生涯口腔保健衛生学, 講)	高塩智子(総合診療, 講)
奥羽大学歯学部	新田 浩(総合診療歯科学, 教)	○葛城啓彰(微生物, 教)
○高橋慶壮(歯周病学, 教)	東京歯科大学	平野恵実(歯科衛生士科, 衛)
新潟大学大学院医歯学総合研究科	◎○齋藤 淳(歯周病学, 教)	日本大学歯学部
◎○多部田康一(歯周診断・再建学, 教)	富田幸代(歯周病学, 准)	◎○佐藤秀一(歯周病, 教)
高橋直紀(歯周診断・再建学, 准)	今村健太郎(歯周病学, 講)	菅野直之(歯周病, 准)
川瀬知之(歯科薬理学, 准)	備前島崇浩(千葉歯科医療センター, 講)	吉沼直人(歯周病, 准)
小林哲夫(総合病院, 教)	○石原和幸(微生物, 教)	今井健一(感染症免疫学, 教)

日本大学松戸歯学部

- 小方頼昌(歯周治療, 教)
- 中山洋平(歯周治療, 准)
- 高井英樹(歯周治療, 准)
- 泉福英信(感染免疫, 教)

昭和大学歯学部

- ◎山本松男(歯周病, 教)
- 滝口 尚(歯周病, 准)
- 小出容子(歯周病, 講)
- 須田玲子(大学病院, 講)

神奈川歯科大学

- 小牧基浩(歯周病, 教)
- 青山典生(歯周病, 准)
- 両角俊哉(歯周病, 准)
- 菅谷 彰(歯学教育, 教)
- 児玉利朗(横浜クリニック, 教)
- 田村利之(横浜クリニック, 特任教)
- 浜田信城(微生物, 教)
- 鎌田要平(横浜クリニック, 講)

鶴見大学歯学部

- ◎五味一博(歯周病学, 教)
- 長野孝俊(歯周病学, 准)
- 八島章博(歯周病学, 講)
- 小林一行(短期大学部, 教)
- 白川 哲(短期大学部, 教)
- 北村景子(附属病院, 衛)

松本歯科大学

- ◎吉成伸夫(保存(歯周), 教)
- 宇田川信之(生化学, 教)
- 音琴淳一(健康増進口腔科学, 教)
- 田口 明(歯科放射線学, 教)
- 西窪結香(大学病院, 衛)

朝日大学歯学部

- ◎辰巳順一(歯周病, 教)
- 北後光信(歯周病, 准)
- 友藤孝明(社会口腔保健学, 教)
- 荒木美穂(歯科衛生士専門学校, 衛)

愛知学院大学歯学部

- ◎三谷章雄(歯周病学, 教)

- 菊池 毅(歯周病学, 准)
- 林 潤一郎(歯周病学, 准)
- 西田英作(歯周病学, 講)
- ◎稲垣幸司(短期大学部, 教)
- 長谷川義明(微生物学, 教)

大阪歯科大学

- ◎梅田 誠(歯周病学, 教)
- 田口洋一郎(歯周病学, 准)
- 前田博史(口腔治療学, 教)

大阪大学大学院歯学研究科

- 村上伸也(口腔治療, 教)
- 北村正博(口腔治療, 准)
- 山下元三(口腔治療, 講)
- 竹立匡秀(口腔治療, 講)
- 野崎剛徳(附属病院, 准)

徳島大学歯学部

- ◎湯本浩通(歯周歯内, 教)
- 木戸淳一(歯周歯内, 准)
- 二宮雅美(歯周歯内, 助教)
- 成石浩司(歯周病科, 講)
- 稲垣裕司(歯周病科, 講)
- 尾崎和美(口腔保健支援学, 教)
- 伊藤博夫(予防歯学, 教)

岡山大学学術研究院医歯薬学域

- ◎高柴正悟(歯周病態学, 教)
- 大森一弘(歯周病態学, 准)
- 山本直史(総合歯科, 教)

広島大学歯学部

- 水野智仁(歯周病態学, 教)
- ◎河口浩之(附属病院, 教)
- 柴 秀樹(歯髓生物学, 教)

九州歯科大学

- 中島啓介(歯周病, 教)
- 臼井通彦(歯周病, 准)
- 守下昌輝(カリニカルトレーニング開発, 准)
- 村岡宏祐(カリニカルトレーニング開発, 講)

九州大学大学院歯学研究科

- ◎西村英紀(歯周病学, 教)
- 讚井彰一(大学病院, 講)

福岡歯科大学

- 福田隆男(大学病院, 講)
- 坂上竜資(歯周病, 教)
- 吉永泰周(歯周病, 准)
- 永井 淳(地域連携センター, 教)

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

- ◎金子高士(口腔医療センター, 教)
- 米田雅裕(総合歯科学, 教)
- 田中芳彦(機能生物化学, 教)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

- ◎野口和行(歯周病学, 教)
- 白方良典(歯周病学, 准)
- 中村利明(大学病院, 講)
- ◎吉村篤利(歯周歯内, 教)
- 鶴飼 孝(大学病院, 教)
- 尾崎幸生(歯周歯内, 助教)

慶應義塾大学医学部

- ◎中川種昭(歯科・口腔外科, 教)
- 森川 暁(歯科・口腔外科, 講)

神戸常盤大学短期大学部

- 高橋由希子(口腔保健学科, 衛)

静岡県立大学短期大学部

- 吉田直樹(歯科衛生学科, 教)

太成学院大学

- 大浦 清(看護学部, 教)

東京歯科大学短期大学

- 杉戸博記(歯科衛生学科, 教)

日本歯科大学東京短期大学

- 野村正子(歯科衛生科, 衛)

- 松澤澄枝(歯科衛生科, 衛)

九州看護福祉大学

- 金子憲章(口腔保健学科, 教)

特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会

- 木村英隆(理事長)

公益社団法人日本歯科衛生士会

- 高橋由希子(副会長)

一般関係(五十音順)

- 相野 誠(愛知県)
- 赤堀 康(愛知県)
- 浅原洋士(徳島県)
- 新井英雄(岡山県)
- 有田博一(東京都)
- 飯野文彦(東京都)
- 池田康男(静岡県)
- 池田頼宣(東京都)
- 石谷昇司(東京都)
- 石原裕一(東京都)
- 市原健太郎(福岡県)
- 市丸英二(佐賀県)
- 市村 光(埼玉県)
- 伊藤正満(愛知県)
- 岩田光弘(岡山県)
- 岩野義弘(東京都)
- 岩本義博(香川県)
- 内田剛也(神奈川県)
- 梅村昌孝(愛知県)
- 江田昌弘(神奈川県)
- 遠藤憲行(岩手県)

- 大石慶二(香川県)
- 大浦 清(大阪府)
- 大江丙午(岡山県)
- 大野友三(愛知県)
- 岡部京平(京都府)
- 小田 茂(千葉県)
- 片山明彦(東京都)
- 金子 至(長野県)
- 上條博之(長野県)
- 亀井英彦(栃木県)
- 鴨井久博(東京都)
- 川村浩樹(東京都)
- 菊池重成(東京都)
- 北村秀和(東京都)
- 木村英隆(福岡県)
- 久保田健彦(新潟県)
- 熊谷敦史(岩手県)
- 黒柳隆穂(愛知県)
- 郷家英二(東京都)
- 香坂陽介(山口県)
- 小林 宏(東京都)

- 斎田寛之(埼玉県)
- 佐瀬聡良(千葉県)
- 佐藤昌美(北海道)
- 真川淳之(滋賀県)
- 澤田弘一(岡山県)
- 汐見 登(静岡県)
- 洪川義宏(北海道)
- 島袋善夫(大阪府)
- 清水宏康(東京都)
- 白木雅文(岐阜県)
- 杉田裕一(茨城県)
- 杉山貴志(神奈川県)
- 鈴木瑛一(東京都)
- 鈴木基之(東京都)
- 須藤瑞樹(宮城県)
- 関野 仁(東京都)
- 田井秀明(新潟県)
- 高井靖子(群馬県)
- 高島昭博(福岡県)
- 高橋潤一(東京都)
- 滝川雅之(岡山県)

- 竹内泰子(東京都)
- 田中秀樹(福岡県)
- 田中真喜(神奈川県)
- 谷口崇拓(長野県)
- 土岡弘明(千葉県)
- 土井伸浩(広島県)
- 富井信之(新潟県)
- 中島貴子(新潟県)
- 長縄敬弘(愛知県)
- 二階堂雅彦(東京都)
- 西田哲也(東京都)
- 西 克章(熊本県)
- 菱川敏光(岐阜県)
- 平野治朗(神奈川県)
- 平野裕之(京都府)
- 藤川謙次(東京都)
- 藤田 剛(三重県)
- 藤本 淳(岩手県)
- 保坂均(群馬県)
- 穂坂康朗(東京都)
- 町頭三保(鹿児島県)

松下健二(愛知県)	宮尾益佳(新潟県)	茂木美保(東京都)	○若林健史(東京都)
三浦真由美(福岡県)	村上弘(愛知県)	安田忠司(愛知県)	渡辺和志(埼玉県)
○水上哲也(福岡県)	村田雅史(新潟県)	梁川輝行(岩手県)	渡辺孝章(神奈川県)
溝部潤子(大阪府)	村橋慶宣(大阪府)	柳田学(大阪府)	渡辺久(神奈川県)
南こずえ(栃木県)	目澤優(埼玉県)	山下素史(福岡県)	
峯柴淳二(岡山県)	茂木信道(神奈川県)	吉田茂(福岡県)	

賛助会員

医歯薬出版(株)	サンスター(株)	日本歯科薬品(株)
(株)NDC	サンデンタル(株)	白水貿易(株)
エビス(株)	三宝製薬(株)	ヒューフレディ・ジャパン合同会社
(有)エルバ	(株)ジーシー	(株)フィリップス・ジャパン
長田電機工業(株)	(株)ジーシー昭和薬品	ホワイトエッセンス(株)
(株)ガイドデント	(株)松風	(株)マイクロテック
花王(株)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	(株)モリタ
科研製薬(株)	ジンヴィ・ジャパン合同会社	(株)ヨシダ
クインテッセンス出版(株)	ストローマン・ジャパン(株)	ライオン(株)
グラクソ・スミスクライン・コン	タカラベルモント(株)	ライオン歯科材(株)
シューマー・ヘルスケア・ジャパン	デンタルプロ(株)	(株)ワイディエム
(株)	デンツプライシロナ(株)	
小林製薬(株)	(株)トクヤマデンタル	(五十音順)
佐藤製薬(株)	(株)ニッシン	

日本歯科医学会役員（令和5（2023）年4月1日～令和7（2025）年3月31日）

理事	沼部幸博		
評議員	五味一博	齋藤 淳	西村英紀
予備評議員	岩田隆紀	佐藤 聡	佐藤秀一

【お願い】 名称の変更・所属評議員の異動等ありましたら、すみやかに事務局までご連絡ください。

編集後記

2023年5月には新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが5類に移行することになり、今後、生活様式が変化し、さまざまな活動が勢いを取り戻すことが期待されます。

4月より新たに沼部幸博先生が理事長に就任され、本学会の研究力や臨床力をさらに高めるために、さまざまなシステム作りへのチャレンジが始まります。今号の巻頭では、沼部新理事長が「継承」と「挑戦」について書かれ、本学会運営を高めていく方針が示されています。また、新たな情報をアップデートしておかなければならない「日本歯科専門医機構報告」を掲載し、注意点等をお知らせしております。その他にも、学会プロモーション活動の進捗状況、臨床データベース構築について、若手合宿研修の報告、各賞・助成等の選考結果や募集等について掲載しており、読み応えのある号となりました。また、本学会の発展に尽力された故 村井正大先生への追悼文も掲載しております。

最後に、第66回秋季学術大会の開催案内もぜひご一読ください。ハイブリッド形式の開催が予定されておりますが、吉村篤利大会長が掲げられたメインテーマ「グローバルな歯周治療」について、長崎の地で活発な意見交換ができることを楽しみにしております。

(広報委員会委員長 三谷章雄)